

角

三年 1
筆順 カ ア 角 角
オン カク
フン かど・つの

成り立ち



どうぶつの「つ」の形をあらわした字で、「つ」の
といういみの字です。例角笛 一角犀

「とがっている形」「つき出たところ」といういみにつ
かいます。例角帽、三角。

「まがりめ(かど)」といういみにもつかえます。例街
角、曲り角。

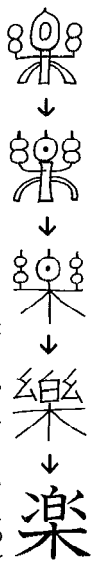
また、「角突き合い」ということばから、「力くらべ
をすること」「すもう」のいみにもつかわれます。例角
逐、角力、角界。

さらに、「二つのちよくせんが交わってできる図形」の
こともいいます。例直角、角度。

楽

三年 13
筆順 イ 白 油 漱 楽
オン ガク・ラク
フン たのしいしいしむ

成り立ち



もとの字は「樂」でした。左右にかねをそなえつけた
大きな「たいこ」のかたちをあらわした字で、「楽器」
といういみをあらわした字です。

また、「音楽」「楽曲」というように、「楽器によって
えんそうされること」をあらわし、また、音楽をきけば
こころがたのしくなるということで、「たのしい」とい
ういみをあらわすようになりました。

「楽器」や「音楽」のように、もとのいみやそれにち
かいつかいかたのときにはガクとよみ、「楽しい」「楽
しむ」といういみのときにはラクとよみます。

使い方

▽街角に三角やねの店があります。その店で角笛を買い
ました。

▽ま四角は角が四つありますが、その角度は九十度で、
これを直角といいます。

熟語例

▽街角(街のこうさてんの角になっているところ。まが
り角)

▽三角(角が三つある、三つのちよくせんにかこまれた
形。角が四つあれば「四角形」、五つあれば「五角形」
といいます。)

▽角度(二つのちよくせんが交わってできる図形を角と
いい、その角の開き方の度合いのこと。二つのせんが
かさなつたときを0度、一まわりしてまたかさなるま
でを三百六十度としました。)

▽直角(ま四角の角のような角のことをいいます。その
角度は九十度です。三百六十度の四分の一です。)

▽頭角をあらわす(頭角は「頭の角」ということですが、
「すぐれた才能」をいみし、「才能や学問が人なみはず
れてすぐれていること」をいいます。)

使い方

▽わたしのすきな楽器はピアノで、楽曲はベートーベン
の「月光」です。

▽後楽園で一日楽しくあそびました。

熟語例

▽楽器(音楽をえんそうするための器具。弦楽器、管樂
器、打楽器とあります。)

▽楽曲(曲は「曲がる」↓「へんかする」いみで、音の
へんか。メロディー。ふつうは「一つの音楽作品」の
いみにつかいます。)

▽楽団(音楽をえんそうする人びとの集団)

▽後楽園(後楽という名の庭園。後楽は「後れて楽しむ」
といういみ。水戸黄門、徳川光圀は「世のすべての人
が楽しいせいかつがでけるようになるまでは、じぶん
は楽しまない」というきもちをもちつづけるようにと、
庭園にこの名をつけて、世のためにつくしました。)

▽楽勝(楽々と勝つこと。)

▽気楽(気を楽にする。ものごとをよいほうにかんがえ
てしんばいせず、いつも楽しい気ぶんでいること。)